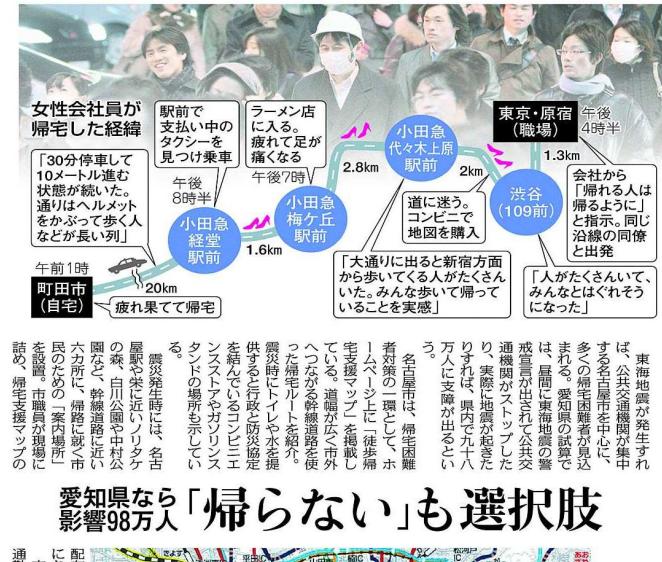


帰宅困難

第11回

都内600万人徒步



愛知県なら「帰らない」も選択肢

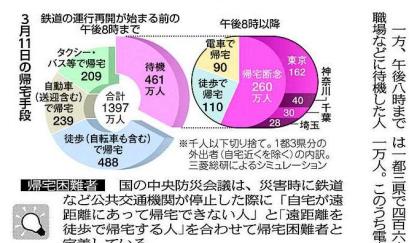


2次災害や転倒事故の恐れ

に歩きながら、その場で飲食する。また、飲食場所で飲食する場合、飲食料を預託する。飲食料を預託する場合は、飲食料の種類や量を確認する。飲食料を預託する場合は、飲食料の種類や量を確認する。

「人の渋滞」進めない

鉄道まひ 260万人「断念」



(c) 中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています

震災に備え、社員の安全を管理する会社はどのような対策を取つておけばいいのか。愛知県防災局が作成した「事業所のための防災マニュアル作成の手引」から、災害時に対応する組織体制や情報収集の方法などを紹介する。あなたや家族、知人の勤めている企業は、どれぐらい当たはまりますか？

情報収集・安否確認

決定できるトップの下に担当者を配置。交通機関や自動車を使わず来社できる人をメンバーに含め登録する。電話が使えない場合を表にして、だれが何をするか明確に記載しておき、常に最新のも

役割分担を明確に

にしておく。

- 組織体制
非常事態に速やかに対応する本部機構のメンバー、設置基準、設置場所を決めておく。最高方針を
- 緊急連絡網
安否情報が二元化できるよう整備する。早く連絡を完了するため一つのグループの社員数は五人以
- 情報収集と提供
被災状況、従業員の安否、交通機関の状況などの情報をだれが収集し、提供するか明確にする。

にしておく。

のに更新する。

- 組織体制
非常事態に速やかに対応する本部機構のメンバー、設置基準、設置場所を決めておく。最高方針を
- 緊急連絡網
安否情報が二元化できるよう整備する。早く連絡を完了するため一つのグループの社員数は五人以
- 情報収集と提供
被災状況、従業員の安否、交通機関の状況などの情報をだれが収集し、提供するか明確にする。

本部機構の任務例

- ・社員、家族の安否確認
- ・被災状況の把握、提供
- ・救出、救助の応援指示
- ・必要機器、資金などの調達
- ・広報、近隣事業所や関連会社との情報交換、支援要請

会社の対策

やライフラインの確保に必要な機関の連絡先は一覧表にしておく。

- 備品
急救医療セットや携帯ラジオ、懐中電灯、社員名簿、軍手、マスク、電池などを入れた非常用パックを職場に保管する。重要な書類は耐火金庫に保管し、非常時に持ち出す書類は最小限に。三日間ほどは自力で対応できるよう食料、炊事用具、衣料、救急器材、電池、発電機などの機材も用意。生活用品などの非常用品を被害が受けにくい場所に確保する。

悩ましい受験先選び

「ただいまー」。7月中旬、仮設住宅に沙也加さんの声が響く。玄関先でまつわりついてきた飼い犬のタローの頭をひとしきりなで回し、沙也加さんは茶の間に上がってきた。

あすから夏休み。とはいえ、気持ちは軽くない。来春に高校受験を控える身だけに、

夏休みは文字通りの「休み」にはならない。

先日、終えたばかりの実力テストの結果は「最悪の出来」だった。「特に英語、まあ、予想はしていたけれど…」

特別に難しいわけではなかったのに、学年の平均点が30点台なんて教科もあった。教室の仲間も勉強する余裕なんて無かったんだろうなと思う。自分だってそうだった。何しろ、原発の事故で避難生活が始まってしまったわずか4カ月の間に、3度も自宅が変

わったのだから。
—11—

受験先を選ぶのも悩ましい問題だ。もともと目指してきた地元の公立高校は原発事故で避難を強いられた。今は他校に「間借り」しながら授業をしているが、何だか肩身が狭そうに思える。最近は福島県会津若松市内で進学先を探すことも考えている。

最終的に志望校を決めるのは11月。多少の時間は残っている。頭の中のもやもやを

振り払うかのように、沙也加さんは茶の間に、どーんとノートを広げる。「とにかく悔いのないよう頑張る」。勝負の夏。被災を言い訳にしたくない。

鳴(はなわ)さん一家、原発事故で福島県大熊町から避難。光一さん(43)と妻幸さん(43)、次女沙也加さん(15)は愛知県豊田市で暮らし、会津若松市に移った。長女梨奈さん(18)は東京で大学生活。